



中央中だより

<第5号>



明日からは夏休み

早いもので1学期が終了し、明日から待ちに待った夏休みが始まります。1学期を振り返ると、新しい環境に慣れようと必死だった1年生、部活動や学校行事で学校の中心的役割を担い始めた2年生、そして最高学年として進路を見据えながら行事を引っ張ってくれた3年生と、それぞれの学年で大きな成長が見られました。

夏休みは、学校という枠組みを離れ、自分自身で時間を管理する絶好の機会です。宿題や部活動に励むだけでなく、普段はなかなかできない読書や探求（自由研究）、地域活動など、自ら主体的に行動し、9月には心と身体が一回りも二回りも大きくなった中央中の生徒たちに会えることを楽しみにしています。

○保護者の皆様へ

45日間の長期にわたる夏休みは、生徒たちが主体性や自立心を育む絶好の機会です。学校の時間割やチャイムがない生活の中で、充実した毎日を送るために、ご家庭で以下の3つの視点からサポートをお願いいたします。

1) 時間の使い方の見直しと自立の促し

学校という枠組みから離れる夏休みは、一日のスケジュールを自分でコントロールする練習の場です。お子さんと一緒に「起床・就寝時刻」「学習時間」「自由時間」の大まかな時間割を話し合い作ってみてください。

2) 家族の一員としての役割(お手伝い)を

自由な時間がたっぷりある夏休みだからこそ、家庭内での役割を与え、責任感を育てるチャンスです。お風呂掃除、ゴミ出し、夕食の配膳など、役割は家庭ごとに何でも構いません。「自分の役割」を責任を持って、やり遂げさせてみてください。その際「助かったよ!」「ありがとう♥」という家族からの言葉が、自己肯定感や「社会の一員」としての自覚に繋がると言われていますので、意識して実践してみてください。

3) 学習習慣の確保と環境づくり

「夏休みの宿題は最後にまとめてやればいい!」という進め方では、1学期に身についた学習習慣が崩れてしまいます。また、テレビやスマートフォンが目に入らないよう、お子さん自身が机の周りを整理整頓し、集中できる静かな環境を整え、毎日少しずつでも学習を続けられるようお声がけください。「継続は力なり」です。

○授業参観・保護者会(高校説明会)開催しました

7月に入り、各学年で授業参観・保護者会(3年生は高校説明会)を開催させていただきました。お忙しいところ多くの保護者の皆様の参加をいただきましたことにお礼申し上げます。

授業参観では、小学生の時とは異なり、少し照れくさそうな表情を浮かべている生徒の様子も見られました。それでも、家族に見守られている「うれしさ」や「安心感」は感じているはずです。これからも、お時間に都合がつく際は、行事等にご参加いただけるとありがたいです。

また、保護者会では、学年ごとに1学期の振り返りや夏休み中の生活等についてお話しさせていただきました。3年生では、市内の高校を中心に各校の担当の先生方から特色等を紹介していただく機会を設けさせていただきました。夏休み中には多くの高校でオープンスクール(学校説明会・体験入学)が予定されています。「百聞は一見にしかず」興味のある学校に積極的に足を運んでほしいと思っています。「この学校で勉強したい!」といった思いが、その後の中学校生活等のモチベーションにつながるはずです。



【3年生・進路選択に向けた高校説明会の様子】

○更生保護女性会の皆様から雑巾寄贈

7月7日（火）「社会を明るくする運動」期間に合わせて、昭和・西・南地区の更生保護女性会の代表の方々が来校されました。皆様方からは、学校に心のこもった手縫いの雑巾やポケットティッシュを寄贈していただきました。これらは、学校の環境美化のために大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



【更生保護女性会から寄贈】

○薬物乱用防止教室

7月9日（木）3年生を対象に本校の学校薬剤師の方に講師をお願いし「薬物乱用防止教室」を開催しました。薬物乱



【薬物反応を実験でわかりやすく】

た。私は講師の方が話された「あなたを大切に思っている人がいることを想像してみる。薬物乱用は、さびしさや不安など、『心の健康』が大きく影響している。」との言葉が印象に残りました。

用の入り口となるドラッグストアウェイ（オーバードーズ、エナジードリンク、タバコ）のお話から、クイズや薬物の身体への影響をわかりやすくするための実験を取り入れながら講義していただきました。

○情報モラル講習会

7月13日（月）「セーフネットリょうもう」からインストラクターの方を講師にお招きし、全校生徒を対象に市文小ホールにおいて「情報モラル講習会」を開催しました。講師の方からは、「スマホの機能は年々進化し、様々なことが可能となってきた



【情報モラル講習会の様子】

が、一度「送信」してしまうと全世界に広がり「制御不能となること」「ネットの失敗はリアルな日常とはダメージの桁が違うこと」等を認識する必要がある。自分自身や相手を大切するため、ルールを守り『私らしい』使い方ができるようになることを心がけることが大切です。」とご助言をいただきました。

「ご家庭で今一度見直しを！中学生のSNS利用とトラブル防止に向けて」

現在、多くの生徒がスマートフォンやタブレットを所有し、友達との交流や情報収集に活用しています。SNSは便利なツールである一方、文字のやり取りによる誤解や、夜遅くまでの利用による睡眠不足、見知らぬ人とのトラブルなど、中学生が巻き込まれる事例が全国的に後を絶ちません。

そこで、夏休みを前に、ご家庭でも今一度、以下の3点についてお子様と一緒に話し合い、ご家庭でのルールの見直し、再確認をお願いいたします。

1. 個人情報の保護

顔写真や名前、制服、自宅周辺の風景が写った画像・動画の投稿、真意不明な内容や個人を誹謗中傷するような不適切な書き込み等は、個人特定やトラブル被害、加害のリスクが非常に高くなるため絶対に行わないようご指導ください。

2. 利用時間と場所のルールづくり

「夜〇時以降はリビングで使用する」「勉強中はスマホを別の部屋に置く」など、生活リズムを崩さないための各ご家庭で具体的なルールをお子さんと相談し、決めてください。深夜の利用は、翌日の体調や学習への集中力に大きく影響しますので、特に注意が必要です。

3. フィルタリング機能の活用

トラブルや有害サイトへのアクセスを未然に防ぐため、生徒の端末には必ず「フィルタリング（ペアレンタルコントロール）」を設定してください。また、スマートフォンの契約内容やアプリの設定状況、利用料金等を定期的にご確認いただくようお願いいたします。

学校でも「情報モラル教育」を継続して行っておりますが、生徒たちが安全にネット社会と付き合いしていくためには、ご家庭での見守りとルールづくりが不可欠です。特に、夏休み中は全国的にトラブル被害、加害が増加する傾向にありますので、生徒たちにとって楽しく、安全な夏休みにするためにも各家庭でご協力をよろしくお願いいたします。